令和６年度　森林環境譲与税の使途の内訳

都道府県名	市町村名	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果
			(A)＋(B)＋(C)	(A)うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）			
埼玉県	鶴ヶ島市	５R推進事業	350	280		70	一般家庭から排出された生ごみの減量及び焼却量の削減に対する意識の醸成を図るため、国産木材で製作された箱型の生ごみ処理器キエーロを販売した。	販売数：１０基	税の導入により、キエーロを市民に普及しやすくなった。また、西川材という高級木材を使用して製作したことにより、県産木材のPR及び市民の環境保全意識の醸成に寄与した。
埼玉県	鶴ヶ島市	森林環境基金積立金	799	790		9	森林の整備、木材利用の促進、普及啓発関係の事業に充当するため、充当事業の残額を基金に積み立てた。		木材の普及・啓発及び森林整備事業に活用した残額を、翌年度以降の公共施設の木造化、内装木質化等、木材利用の促進に係る事業や、木材・普及啓発関係の事業に充当するため積み立てた。
埼玉県	鶴ヶ島市	みどりの保全事業	11704	7044		4660	市で管理する市民の森の整備の一環として、樹木の剪定や伐採を行った。	市民の森の枯損木や不健全木の間伐及び剪定（0.16ha）を実施した。	市民が安全に森に出入りできるように、また、防犯防災及び住環境整備として実施。安定的財源により、継続的に事業を実施できる。